

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

| | | | |
|------|--|--------|------------------------|
| 施設名称 | 川崎市とどろきアリーナ | 評価対象年度 | 平成22年度 |
| 事業者名 | スポーツ施設管理運営体協グループ <構成団体> ・財団法人川崎市体育協会 ・アーバンプラス株式会社(平成22年7月1日JFEアーバンプラス株式会社から社名変更) ・株式会社横浜アースト | 評価者 | 中原区役所区民協働推進部 地域振興課長 |
| 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 | 所管課 | 中原区役所区民協働推進部地域振興課 |

2. 事業実績

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|---------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 利用実績 (単位:人) | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | 29,828 | 38,726 | 42,119 | 54,652 | 51,348 | 59,076 | 48,338 | 51,715 | 38,831 | 57,923 | 54,071 | 21,495 | 548,122 |
| 収支実績 (単位:千円) | 収入 | 指定管理委託費 | 307,014,052 | | | | | | | | | | |
| | | 利用料金収入 | 67,587,105 | | | | | | | | | | |
| | | 事業収入他 | 14,666,283 | | | | | | | | | | |
| | 支出 | 収入計 | 389,267,440 | | | | | | | | | | |
| | | 管理運営費 | 384,503,773 | | | | | | | | | | |
| | | 事業費 | 4,761,073 | | | | | | | | | | |
| | | 支出計 | 389,264,846 | | | | | | | | | | |
| サービス向上の取組 | <p>■利用提供に際し、利用団体の利用時間延長などの要望に柔軟な対応を行っている。</p> <p>■従来からの回数券(11枚セット:10枚分の料金)や割引率を向上したセット利用料(個人利用とスポーツサウナのセット券)に加え、サウナ利用券(6枚セット:5枚分の料金)を新たに設定するなど、利用サービスの向上と利用促進を図っている。</p> <p>■指導者の研修・講習会や保育ボランティア研修会の実施、事業運営への地域ボランティアの登用など、指導者・ボランティアの育成活用に積極的に取り組むとともに、子育て期の親の参加機会の促進につなげるなど、地域の人材活用の取組を積極的に行っている。</p> | | | | | | | | | | | | |

3. 評価

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|---------------|--|----|------|-----|
| 総合的な運営状況 | 基本方針 | 公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果たしているか。 | 5 | 4 | 4 |
| | 事業成果 | 事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。 | 5 | 3 | 3 |
| (評価の理由) 事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 基本方針の具現化のため、「市民サービスの向上指針」を策定し、市民サービスの向上に努めるとともに、東日本大震災における本市の防災対策に対する協力などを通じて、公の施設としての役割を十分に果たしているものと評価する。 自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行うとともに、「利用者懇談会」などを通じて、事業成果の把握に努めている。 | | | | | |
| 管理業務の実施状況 | 維持管理 | 安全で適正な管理運営を確立するとともに、施設の利用提供に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 休館日・開館時間 | 利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 利用料金 | 公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 諸施設の活用と提供サービス | 効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 個人情報保護や情報公開 | 個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 利用促進 | 施設の利用促進に向けた取組がなされているか。 | 5 | 4 | 4 |
| | 人員配置 | 円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 人材育成 | 各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 危機管理 | 利用者の安全の確保及び緊急時の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。 | 5 | 5 | 5 |
| (評価の理由) 事業計画に基づいた管理業務の実施がなされている。 スポーツ大会をはじめ、企業の行事・式典・研修会やCM制作ロケ等の場として各種企業・団体等の誘致の他、民間スポーツ施設とも連携し、「少年スノーボード&スキー教室」を開催するなど、積極的な認知度・稼働率の向上に向けて取り組んでおり、利用促進の成果として評価する。 危機管理面では、東日本大震災発生時における利用者の避難誘導等も安全に実施するなど、日頃の危機管理対策の成果を十分に発揮したものと評価するとともに、3月19日以降、当館が本市唯一の避難所として稼働する中で、柔軟な事業の変更などを通じて避難所運営への的確な協力が実施されたことから、本市の危機管理対策に対して大きな貢献をしたものと評価できる。 | | | | | |

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|--|--|--|----|------|-----|
| 事業実施状況 | 施設利用提供業務 | 生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 個人開放事業 | 生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業を実施しているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 教室等事業 | 生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | スポーツ情報提供及び相談業務 | 生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 指導者・ボランティアの育成 | 地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。 | 5 | 4 | 4 |
| | 自主事業に関する事項 | 利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 広報活動 | 施設利用促進及び生涯スポーツ振興を図るための広報活動がなされているか。 | 5 | 3 | 3 |
| (評価の理由) 事業計画に基づいた事業の実施がなされている。なお、東日本大震災の発生に伴う自粛や避難所の設置により、事業等の中止や利用者の大幅な減少があったものの、これは想定外の事象として考慮する。 地域の指導者の研修・講習会やボランティア研修会の実施、事業運営への地域ボランティアの登用に加え、総合型地域スポーツクラブに対する支援に積極的であり、かつ民間スポーツ施設と連携した教室事業を開催するなど、地域スポーツの核となる施設として、地域コミュニティの推進に役割を果たしていると評価する。 また、中学校の職場体験授業や大学の社会教育実習生を受け入れるなど、社会的貢献を果たしているものと評価する。 | | | | | |
| 収支状況 | 安定性 | 収支計画に基づく安定した運営を行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 効率性 | サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | (評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。 | | | | |

4. 総合評価

| | | | |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 65 | 評価ランク | C |
|-------|----|-------|---|

注)評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A:90点以上 B:80点以上90点未満 C:60点以上80点未満 D:40点以上60点未満 E:40点未満

A:特に優れている B:優れている C:適正である D:改善が必要である E:問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。
地域のスポーツ振興を担う施設として、スポーツ活動の場を提供するとともに、プログラムを含めた参加機会の提供、地域スポーツ活動の支援や意識啓発、地域人材の育成等に積極的に事業展開を図っている。
スポーツ教室等事業では、幅広い年齢層を対象に、初心者でも楽しく参加できる教室を開催し好評を得ているとともに、「館長へのひとことBOX」など、よりよい事業推進のため積極的に利用者と意見交換を行っている。
指導者講習会の充実を図るとともに、保育ボランティアの育成にも留意し、子育て期の親のスポーツ活動参加促進のため保育付きの事業の実施を行うなど、地域の人材活用を図りながら、利用者の利便性向上に努めている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、幼児から高齢者まで市民誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめる拠点として、生涯スポーツを通じたまちづくりを目指すとともに、市民の健康・体力の維持・増進やスポーツ活動の推進に努め、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。
また、公平で公正な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めること。
広報効果について自己モニタリングやアンケート等の検証や教室終了後の活動支援等についての検討などに留意し管理運営を行うとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、地域との連携によるスポーツ振興事業のほか、地域の活性化、高齢化対応、子育て支援、障がい者スポーツ振興、健康都市づくりなどの行政課題の解決にも留意し、事業展開を図ること。